

中国ビジネスセミナー

# 中国ビジネス最前線と日本企業の参入方策

主催：コンサルティング第二事業本部 2003年12月9日（東京）

中国では、2008年に北京五輪、2010年に上海万博が開催される。すでに政府行政機関や企業、特に北京市および上海市政府や大手の国有企業、民間企業が、五輪・万博に向けた種々の準備を進めている。

北京五輪や上海万博に向けて、現地の政府や企業が抱えるさまざまな課題、ニーズを把握し、これを理解することは、日本の行政府や企業にとって、中国現地政府や現地企業とのネットワークを構築し、相手に対する理解を深化させ、さらにこれらをもとにした新たな交流機会やビジネス機会の創出するためにも、極めて重要であると思われる。

標記のセミナーは、以上の背景認識のもと、中国市場にすでに参入している企業、並びにこれから本格的に進出することを検討している企業に対して、中国における最新情報を提供する目的で開催された。

## 中国沿海都市部の消費ブーム

ここ1、2年で、中国沿海都市部の購買力は劇的な変化を遂げている。最初のセッションでは、中国の消費市場が持つ魅力や最近の傾向、日本企業にとっての機会とリスクなどを包括的に報告した。具体的には、昨年8月にNRI野村総合研究所が実施した中国生活者調査の成果などを用いて、「海の中国」と「山の中国」による“勝ち組の循環”が持続的成長の原動力として機能していることや、台頭する中産階級層による消費ブーム、急増する自動車販売と都市部での不動産売買、将来の収入増への期待とローンの積極利用の実態、先進国化する都市部での購買行動などを報告している。

## 中国ビジネスの課題と日系企業の戦略

拡大する市場の一方で、中国ビジネス特有の難し

さは依然として課題となっている。日本企業はどのような戦略、対策でこれらの問題解決を図ろうとしているのか。2番目のセッションでは、NRIの現地法人、NRI上海から、最新の現地事情を報告した。具体的には、欧米企業と日本企業の中国事業成功要因と共通する中国事業戦略の比較分析により、両者の戦略の差異を浮き彫りにするとともに、日系企業の克服すべき課題を報告している。

## 北京五輪（2008年）・上海万博（2010年）を契機とする日本企業の事業機会

五輪・万博を控えて、これに対応した“新社会サービス”の需要が顕在化している。3番目のセッションでは、巨大な新市場が期待できる新社会サービスについて複数のテーマを取り上げ、事業環境、現地顧客候補の実像・実態、ニーズなどについて報告した。具体的には、観光、エネルギー、流通、環境の4つのテーマについて、ビジネス対象主体、業界を取り巻く環境変化、ビジネス対象主体が抱える課題・ニーズ、対応が可能な日本のリソース・ソリューション、事業展開シナリオ、当ビジネスの市場規模試算、ビジネス参入に向けてのロードマップ について報告している。

本セミナー終了後、複数の企業から具体的なテーマでの意見交換と、現地政府、現地企業との共同研究の開催を要請されており、現在対応中である。

.....  
本セミナーについてのお問い合わせは下記へ

中国・アジア事業コンサルティング室

山田秀之 (03) 5203-0720 h-yamada@nri.co.jp

上野 洋 (03) 5203-0610 h-ueno@nri.co.jp